

## ○研修会一覧（平成31年4月～令和元年10月）

## ア 介護関係者向け研修会

日 時：①令和元年5月28日（火）18：30～19：30

②令和元年8月20日（火）18：30～19：30

場 所：市営函館競輪場テレシアター（①，②）

テーマ：「正しい病院のかかり方（医療介護連携編）」

講 師：社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院

法人内・法人外連携推進担当課長 船山 俊介 様

参加者：199名（①），134名（②）

## イ 医療関係者向け研修会

日 時：①令和元年5月30日（火）17：30～18：30

②令和元年8月23日（金）17：30～18：30

場 所：医療法人雄心会 函館新都市病院（①）

社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院（②）

テーマ：「介護サービスの概要と役割（医療との連携）」

講 師：医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所

管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様

参加者：76名（①），78名（②）

## ウ 函館オープンカンファレンス

日 時：令和元年8月22日（木）18：30～20：00

場 所：社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院

進行役：医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院 副院長 川口 篤也 様

参加者：138名

## エ 施設看取り研修会

日 時：令和元年9月25日（水）19：00～20：00

場 所：市営函館競輪場テレシアター

内 容：「函館市内の施設による看取りケアの取り組み報告」

医療法人大庚会 グループホーム街

管理者・計画作成者 生田 友希 様

地域密着型特定施設 介護付有料老人ホーム 白ゆり乃木

生活相談員 大黒 玲央奈 様

参加者：150名

## オ 函館市における多職種連携への理解の促進

### <地域包括ケア看護職ネットワーク強化研修会>

日 時：令和元年10月26日（土） 13：30～17：00

場 所：社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院

テーマ：「認知症の人を地域（病院、施設、在宅等）で支えるための看看連携  
を考える」

内 容：①講 義 「認知症の人のアセスメントとケアの実践」

講 師 北海道立江差病院

認知症看護認定看護師 薄田 珠緒 様

②事例検討 「支援を継続するための看看連携を考える」

参加者：106名

ホームページ上で掲載した研修情報一覧（平成31年4月～令和元年10月）

月	研修名称（団体名）	件数
4月	函館消化器病懇談会 『高齢者への慢性便秘症診療を切り拓く』 <span style="float: right;">（国立病院機構 函館病院）</span>	2件
	第9回 ICNJ北海道支部 道南ブロック研修会 『尿路感染対策～介護（ケア）する側・される側の立場から～』 <span style="float: right;">（日本感染管理ネットワーク北海道支部 支部長）</span>	
5月	地域がん診療連携拠点病院講習会 『胃癌の薬物療法』 『胃癌で死なないために』 <span style="float: right;">（市立函館病院）</span>	4件
	第23回 呼吸ケア研修会 『チームで取り組む呼吸リハビリテーション』 <span style="float: right;">（道南呼吸ケア研究会）</span>	
	函館緩和ケアセミナー 『疼痛管理を目指した薬剤師による地域連携』 『がんサバイバーに対する循環器サポートと緩和ケア～Cardio-Oncologyの現状と今後の課題～』 <span style="float: right;">（函館五稜郭病院）</span>	
	2019年度南渡島地域包括緩和ケアネットワーク 会員総会並びに第13回定例会 『木古内・福島・松前の緩和ケア・在宅ケアの事情について』 <span style="float: right;">（南渡島地域包括緩和ケアネットワーク）</span>	
6月	国立病院機構函館病院 第40回 緩和ケア勉強会 『緩和ケアにおける口腔ケア』 <span style="float: right;">（国立病院機構函館病院）</span>	6件
	令和元年度 北海道介護福祉士会道南支部第1回研修会 『いまさら聞けない介護職と看護職のキモチ…』 <span style="float: right;">（北海道介護福祉士会道南支部）</span>	
	令和元年函館市地域ケア全体会議 民生委員とケアマネジャーのための勉強会 『つながる支援の輪』 <span style="float: right;">（保健福祉部地域包括ケア推進課）</span>	
	第11回 函館五稜郭病院 緩和ケア研修会 『がん性疼痛等の身体症状及び精神症状に対する 緩和ケア・コミュニケーションに関する講義、ワークショップ、ロールプレイ等』 <span style="float: right;">（函館五稜郭病院）</span>	
	道南在宅ケア研究会 第50回定例会・会員総会 『サ高住で診る～がん患者難民を防ぐために～』 <span style="float: right;">（道南在宅ケア研究会）</span>	
	第148回 国立函館病院合同教育講座 『ロボット手術の現状と今後の動向～われわれの診療にどう影響するか？～』 <span style="float: right;">（国立病院機構函館病院）</span>	
7月	第36回 函館五稜郭病院がんセンターボード 『院内の各チームからの報告』 『領域別がんセンターボードからの報告』 『乳腺がんセンターボードからの症例報告』 <span style="float: right;">（函館五稜郭病院）</span>	3件
	五稜郭病院感染対策セミナー 『自分自身を護るための感染対策』 <span style="float: right;">（函館五稜郭病院）</span>	
	第78回 五稜郭セミナー 『リウマチ治療に必要な感染症の知識～安全に治療を行うために～』 <span style="float: right;">（函館五稜郭病院）</span>	
8月	第150回 国立函館病院合同教育講座 『肺癌早期発見に向けて～現状と将来～』 <span style="float: right;">（国立病院機構函館病院）</span>	5件
	2019年度 実践講座「医療同意と意思決定支援」 『医療同意と意思決定支援における諸問題』 『人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインについて』 <span style="float: right;">（北海道医療ソーシャルワーカー協会）</span>	
	日本死の臨床研究会北海道支部 秋の研究会 『がんと共に歩む力を～安心して心開ける第3の居場所』 <span style="float: right;">（道南在宅ケア研究会）</span>	
	認知症市民講座 認知症を見つめなおす 『認知症の人と家族を支える地域づくりに向けて』 『知って安心！楽しく学ぼう認知症～MC1、高齢者てんかんも学ぼう～』 <span style="float: right;">（道南認知症疾患医療連携協議会）</span>	
	Care Do 北海道 2019 『地域で暮らし続けるための生活・療養支援』 他 <span style="float: right;">（Care Do 北海道）</span>	

月	研修名称（団体名）	件数
9月	第151回 国立函館病院合同教育講座 『長崎大学病院における医科歯科連携の現状 がん患者の口腔管理と薬剤関連顎骨壊死を中心に』 (国立病院機構 函館病院)	6件
	令和元年度 難病患者在宅療養支援学習会 『神経難病患者を地域で支えるためのネットワークづくり』 (市立函館保健所 保健予防課 感染症・難病担当)	
	口腔ケアから始まる経営戦略 『高齢者施設において誤嚥性肺炎・インフルエンザを予防できた理由（わけ）～多職種連携による口腔ケアの威力～』 『胃癌で死なないために』 (道南圏域在宅歯科医療連携室)	
	テレワークを活用した難病のある人の就労支援ワークショップ 『国の難病就労支援・向立支援の動向とテレワークへの期待』 『テレワークとは？難病のある方のテレワーク事例』 (道南しょうがい者就業・生活支援センターすてっぷ)	
	第152回 国立函館病院合同教育講座 『肝硬変治療の最新知見 体液・栄養・エネルギー管理』 (国立病院機構函館病院)	
	第37回 函館五稜郭病院カンサーボード 『緊急事態発生時の対応について ～放射線治療編～』 『外来化学療法を受ける高齢者を支える看護』 『がん追跡調査結果報告』 『がん患者の認知症、せん妄の見分け方、対応方法について（仮）』 (函館五稜郭病院)	
10月	第153回 国立函館病院合同教育講座 『乳がんの診断と治療について』 (国立病院機構函館病院)	8件
	2019年度 社会福祉セミナー 「地域課題をとらえるチカラ」－共生社会の中で－ 『あなたは地域の課題を本当にとらえていますか？』 『多様性の尊重と包摂社会は人のためならず』 (北海道社会福祉士会 道南地区支部)	
	2019年度 高齢者および認知症支援のための看護職連携等推進事業 『最期まで自分らしく生きるために準備すること～一緒に考えてみませんか～』 (北海道看護協会)	
	令和元年度 日本ホームヘルパー協会函館支部 北部ブロック研修会 『支える側が支えられるとき』 『訪問介護事業者の業務上トラブルと対策について』 (日本ホームヘルパー協会函館支部)	
	南渡島地域包括緩和ケアネットワーク 第15回定例会のご案内 『地域でアドバンスケアプランニングを普及させるためには』 (南渡島地域包括緩和ケアネットワーク)	
	第154回 国立函館病院合同教育講座 『心不全治療としての構造的疾患インターベンションと解決すべき課題』 (国立病院機構函館病院)	
	整形外科領域 第1回リスク管理アセスメント研修会 『患者さんのこんなサインを見逃すな！』 (函館鍼灸マッサージ師連絡協議会)	
	メディカ体験・説明会 (特定非営利活動法人道南地域医療連携協議会)	
合計		34件

(その他) 参考情報提供（函館市外の研修情報）

函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会

1件

7件

## それぞれの立場からの看取り

### 第1回 『在宅医』

在宅医というお題で原稿依頼を受けましたが、残念ながら在宅医療を専門とする在宅医という専門職は函館にはいません。都会では外来診療をほとんど行わず、在宅医療を専門的に行っている在宅医療専門診療所というところがたくさんあります。しかし、函館では在宅医療を行っている診療所や病院は、通常の外来診療を行いながら、昼休みや夕方方に往診や訪問診療を行っているところばかりです。

ただ、専門職じゃないからダメと言うことではありません。医療・介護の現場で医師がやらなければいけないことは限られています。在宅医療においても、実際には訪問看護師、ケアマネジャー、薬剤師、リハビリスタッフ、歯科スタッフなど多くの専門職が活躍してくれています。そして、この函館はそのような優秀な多職種が常に一緒に研鑽を重ね、連携を深めている先進地域なのです。

医師は、患者や家族、在宅スタッフからの情報をまとめたうえで、必要な指示や薬剤の処方箋などを提供することが一番の仕事となります。そして、他の職種ができないことには、死亡診断書を書くことがあります。医師しかできないことです。たとえ最後は住み慣れた家や施設で亡

くなりたいと思っても、いつも自分を診てくれている医師がその場所まで来てくれて、死亡診断をしてもらって診断書を書いてもらうことが必要となります。日頃からそのようなときに任せられる医師を見つけておきましょう。函館には在宅医療専門の医師はいませんが、いつも患者さんの健康や病気の相談に乗ってくれて、必要なときに専門医に繋いでくれるかかりつけ医がたくさんいます。患者さんが信頼できると思うかかりつけ医は、在宅医療の場でもきっと素敵な医師であると思っています。

医師も患者と信頼関係を築くには時間がかかります。できるだけ自分が動けなくなった時にどうしたいか考えていただいております。かかりつけ医に伝えておくことが大切だと思います。ぜひいつもかかっている先生に伝えてみましょう。

ご回答していただいた方

医療法人社団 守一会 北美原クリニック

理事長 おかだ しんご 岡田 晋吾 先生